

氏名	おおうら しんいち 大浦 真一	職名	講師
取得学位	修士（文学）甲南大学大学院人文科学研究科		
学歴	甲南大学大学院人文科学研究科人間科学専攻心理臨床専修 博士後期課程単位取得満期退学		
受賞歴等	2018年 関西心理学会第129回大会研究奨励賞（第2著者として受賞） 2017年 関西心理学会第128回大会研究奨励賞（第2著者として受賞） 2017年 European Society for Trauma and Dissociation 2017 Best poster award (第3著者として受賞) 2017年 日本臨床催眠学会第18回学術大会研究発表奨励賞（第2著者として受賞） 2015年 日本心理学会第79回大会ポスター発表 優秀賞（第3著者として受賞）		
所属学会	日本心理学会、日本心理臨床学会、日本心身医学会、日本健康心理学会、日本感情心理学会、日本パーソナリティ心理学会、日本トラウマティックストレス学会、日本子ども虐待防止学会、日本社会心理学会、日本臨床催眠学会、日本催眠医学心理学会、日本EMDR学会、関西心理学会		

教育活動
(主な担当科目)
2020年：(学部) 心理演習、心理療法技法論、心理検査実習 (大学院) 臨床心理学実践実習、臨床心理実習Ⅰ・Ⅱ
2019年：(学部) 心理学的支援法、心理検査実習、カウンセリング演習Ⅰ・Ⅱ (大学院) 臨床心理実習Ⅰ・Ⅱ
(その他) ・2020年4月～ 大学院生の実習のスーパービジョンを担当

研究活動
(著書等)
・公認心理師試験直前対策 2019年版 秀和システム 共著 2019/6
・公認心理師試験対策標準テキスト'19～'20年版 秀和システム 共著 2019/2
・臨床心理士等心理系大学院院試＆資格試験のための心理学標準テキスト'19～'20年版 共著 2019/2
・臨床心理士等心理系大学院院試＆資格試験のための心理学標準テキスト'17～'18年版 秀和システム 共著 2017/3
(論文等)
・紙筆版催眠シングル・ターゲット潜在連合テストの妥当性 臨床催眠研究 著者：大浦真一・福井義一 印刷中
・被虐待経験が対人ライフイベントに及ぼす影響—愛着スタイルの媒介効果の検討— 子どもの虐待と



ネグレクト, 22 (1), p. 88-p. 94 著者: 松尾和弥・大浦真一・福井義一 2020/4

・被虐待経験は本当に共感性を低下させるのか?—愛着の内的作業モデルを媒介変数として— 健康心理学研究, 32, p. 127-p. 134 著者: 大浦真一・松尾和弥・福井義一 2020/3

・社会的コンピテンスの認知的側面と情動的側面が社会的スキルに及ぼす影響—表情の情動認知課題と自記式尺度を用いて— 人間科学研究所紀要, 20, p. 59-p. 71 著者: 福井義一・松尾和弥・大浦真一 2019/3

・紙筆版催眠シングル・ターゲット潜在連合テストの開発—催眠への意識的・非意識的態度, 催眠イメージの関連— 臨床催眠学, 19, p. 40-p. 50 著者: 大浦真一・松尾和弥・福井義一 2018/3

・愛着の顕在・潜在的内的作業モデルが対人スキルと社会適応に及ぼす影響—潜在連合テストを用いた検討— 甲南大學紀要文学編, 168, p. 135-p. 154 著者: 大浦真一・福井義一 2018/3

・被虐待経験と不安定愛着が情動調整不全を介して心身の不健康や不適応に及ぼす影響—青年期を対象とした大規模調査 (CAASK2) の概要— 甲南大學紀要文学編, 167, p. 71-p. 94 著者: 福井義一・松尾和弥・大浦真一 2017/3

・催眠に対する意識的 (顕在的) 態度と非意識的 (潜在的) 態度の間の乖離—催眠シングル・ターゲット潜在連合テストの開発とその信頼性・妥当性の検討— 臨床催眠学, 17, p. 16-p. 29 著者: 福井義一・大浦真一 2016/3

・外傷後後遺障害に対する統合医療的アプローチ 日本統合医療学会誌, 8 (1), p. 1-p. 7 著者: 林紀行・大浦真一・今井田貴裕・柴田由紀子・石井友恵・坂上未紀・坂本淑子・岩田昌美・福井義一・畠真弘・石井良平・岩瀬真生・木村慧心・伊藤壽紀 2015/5

・回顧された虐待的養育環境と愛着の内的作業モデル, 感情調節との関連 甲南大学心理臨床研究, 23, p. 41-p. 47 著者: 大浦真一・福井義一 2015/3

#### (研究発表等)

・Effects of Tapping Touch on Changes in Oxytocin Concentration in Saliva Part 2: The difference depending on attachment style 25th World congress of the international college of psychosomatic medicine Florence, Italy 2019/9

・Relationships between conscious and nonconscious attitudes toward hypnosis and images regarding hypnotic states: using a paper and pencil version of hypnosis Single Target Implicit Association Test XXI World congress of medical and clinical hypnosis Montreal, Canada 2018/8

・Psycho-Social Effects of Tapping Touch 3: Change in explicit/implicit internal working models of attachment in care and cared group 24th world congress on psychosomatic medicine Beijing, China 2017/8

・Relationships between childhood abuse and explicit/implicit internal working models of attachment: Using Implicit Association Test 15th Conference of European Society for Traumatic Stress Odense, Denmark 2017/6

・Effects of Explicit/Implicit Internal Working Models of Attachment on Subjective Aspects of Social Adaptation: Using Single Target Implicit Association Test The Asian Conference on Psychology & the Behavioral Sciences 2017 Tokyo, Japan 2017/3

その他、18 本の国際学会発表 (4 本が筆頭) (2016~)、127 本の国内学会発表 (54 本が筆頭) (2012~)、国内外の学会のシンポジウムにおいて 6 本の話題提供を行った。



### 社会活動

- ・2018年2月～2019年2月 関西心理学会第130回大会準備委員会 大会事務局長
- ・2014年～ 15回のメンタルヘルス関連の研修講師を担当



受け継がれる、凛とした、しなやかさ。  
TOKAI GAKUIN UNIVERSITY